

ホームページのリニューアルで アレンジメントフラワーの販路開拓

課題

増える海外からの 注文に対応しきれない

1963年に生花販売業として鹿角市で創業した有限会社花万は、後に葬祭部を設立。老舗の生花店（生花部門）としてアレンジメントフラワーや花束などの贈答用を主軸に事業を営む一方、仏花の販売だけでなく葬儀の準備や進行、香典返しの手配など、トータルで葬儀をサポートしている。

なかでも生花部門の店長（専務）は、フラワーデザインの国際ライセンスを持つ全国有数のフラワーアーティストで、コンテストでの受賞歴も多数。スタッフの技術水準も高く、愛好者を集めたフラワーアレンジメント教室も好評だ。

生花業界では、人口減少や高齢化の影響による顧客の減少という課題に加え、昨今のSNSの普及などにより、近所の花屋さんで購入するだけでなく、「あの花屋さんがつくる花を贈りたい」と、インターネットで注文する消費者が増えるなど、市場の変化への対応も迫られている。

こうしたなか同社では、海外在住者が日本に住む人に花のプレゼントを送る注文が増えてきている。とはいえ、言葉の壁をはじめ、代金のやりとりなどに手間や日数がかかり、その作業が負担になっていた。

支援

英語対応とともに 便利な検索システムも導入

こうしたなか、2018年に同社の経営改善計画書の作成をサポートしたかづの商工会では、計画書の項目の一つ「海外からの注文に対応するWebサイトの構築」について、小規模事業者持続化補助助金の活用を提案。展開中だったホームページをリニューアルするための支援に取り組んだ。

まず商工会では、制作会社として地元の会員事業所を紹介。身近で相談しやすいことが大事だと考えたからだ。リニューアルにあたっては、日本語と英語の2言語のホームページを制作。また、それまで同社が店内で活用していた独自の検索システム「FLOWER SEARCH」をWebサイトで活用できるように提案した。このシステムは、客が店頭でアレンジメントフラワーを注文する際に、モニター上で用途や希望の色、価格を選択すると、過去に制作した作品例を写真で閲覧することができ、イメージにあった作品を選ぶと、そのイメージにあったオーダーメイドの花を注文できるというものだ。こ



同社の店舗外観

れは、客とスタッフがイメージを共有しやすいというメリットがある。このほか、リニューアルに合わせて、価格の見直しや、指名料を付加するなどの変更も実施した。

アクセス数は増加し、ホームページからの注文件数や売り上げも伸ばしている。懸案だった海外からのアクセスもリニューアル後2ヵ月で55件を数え、順調に推移している。同社では、積極的にSNSによる情報発信を行っており、これらの丁寧な活動が結果に結びついているといえる。

商工会ではその後、2019年10月の事業承継もサポート。事業承継センターと連携し、専門家の指導を受けながら事業計画や資金計画の作成を支援した。

支援の経過

期間	支援内容
2018年4月～10月	経営改善計画書の作成支援
5月	Webサイト構築による受注増加計画の策定支援
10月	WebサイトでのPR開始
12月～	事業承継に向けての支援

会社概要

会社名：有限会社花万
住所：秋田県鹿角市花輪字六月田54-2
電話番号：0186-23-2839
URL：http://hana-man.com
代表者名：代表取締役 阿部裕
創業年：1990年
従業員数：5名
商工会名・担当者名：かづの商工会・安保奈緒美